

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年2月27日（水）10：00～10～55

人舞福祉館

出席者：6名

説明員：・町長、鈴木企画課長

事務局：佐藤企画課長補佐、有田企画統計係主事

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

○1億円以上のコストは財政面で不安を感じるがどう考えているか。

→（町長）

財政面の問題は無い。町名変更については未来への投資であり、見えないインフラ整備だと考えている。十勝のブランド力は清水のPRに繋がり、すぐにとはいかないがふるさと納税や企業誘致というかたちで結果を出していくことを考えている。また、検索上の優位性を確保していくために、他の清水町との差別化が必要になってくると考える。町名変更を行うことによって、何か他の整備や事業を取りやめにしているわけではない。

○農家としてのメリットは大きいと感じるが町中の人々のメリットがあまりないと思う。

→（町長）

清水の一流の製品のブランド力向上に繋げることができれば、多くの企業や人が清水を知る一つのきっかけになると考えている。そのきっかけがふるさと納税を集め、観光に繋がり、経済の流入に繋がることにもなると考えている。町名を変えてすぐに変化は感じないかもしれないが、未来への投資として、清水町の基盤をつくることは出来ると考える。

○住民投票の年齢と投票率が大切であると思うがどう考えているか。

→（鈴木課長）

住民説明会などを通して、色々な意見を頂いているので、年齢の幅や投票率を設けるのかなどは再度慎重に検討していきたいと考えている。

→（町長）

多くの方から中学生、高校生にも意見を聞くべきとの声を頂いているので、若い世代の意思についても、なんらかのかたちで聞いていきたいと考えている。投票率は設けない予定である。町名変更については長い時間をかけて、何回も投票をしてもらうべきではないと考えている。

○ふるさと納税で利益が出せれば、次は観光施設を整備していく考えはあるのか。

→（町長）

市町村それぞれで資源は異なるが、清水町には観光地となりうる資源が沢山あると考えている。一例であるが日高山脈や剣山等を活用すれば観光施設はつくれると考えている。

清水町には眠っている資源がたくさんあるので、見せ方を変えることが重要であると考えている。

○将来的には上川郡を十勝郡や十勝国に変更することも考えてほしい。

→（町長）

町名が変更された場合はそういった思いを国に要望していきたいと考えている。十勝の市町村で統一することが出来ればより強いブランド力になると考える。

5 閉会